

## 今月の農作業

県病害虫防除所発表

水稻は苗いもち病がやや多い予想です。種子消毒は(消毒済み種子も)10℃の水で2日程浸漬します。また気温がかなり上がってきましたが、5月はほぼ平年並の天気予報の為、逆算して種まきし、早まきをさけます。

果樹は黒星病が依然多く、モニリア病は多い、腐らん病はやや多い予想となっています。また今後の気温が高く推移する予想なので、展葉、開花が早まる恐れもあります。剪定や枝の片づけは出来るだけ早めに済ませ、適期の薬剤防除を心掛けてください。

※左はマシン油散布適期の目安です。カイガラムシ類、ハダニ類は50倍散布で効果が安定します。散布時期を逸しないよう注意しましょう。



おしつ 50倍限界



50倍限界

# 農業倶楽部通信

平成三十年 四月号

発行：農業倶楽部  
よこて店  
H30.3.30 vol.41

営業時間  
8:30~18:00

定休日  
日曜日

## 春のイベントのお知らせ

●4月4日(火) 9時から16時

今年も「春の市」を開催することとなりました。平日ではありますが、ぜひ皆さんお誘いあわせの上「来場ください」。

★農業散布用《ドローン》

テスト飛行実施します！

★日頃のご愛顧に感謝し、

《うどんそば》を無料提供♪

★わけあり・期間近の農薬、

一部資材など、《特売セール！》

★現金購入者に必ず《粗品進呈》

：等々、お得意様に喜んで頂けるよう精いっぱい努力しますので、「ご予約の方もたくさんお待ちしております(笑)」

## ●重労働からドロ〜ン!

重い肥料散布や手間暇のかかる農薬散布は、農作業の中でも決して楽しい仕事ではなく、「よっこらしょ」と重い腰を上げて取りかからなくてはならない重労働である。しかも、農作業従事者の多くは高齢に差し掛かり、肥料なら一発肥料、除草剤なら一発除草剤と、手間が少なく済む商材が好まれている。

しかし防除時期の限られる病害虫に対しては生育中の消毒が最も効果的で、近年は無人へりに頼る部分が非常に大きい。1反歩1,200円前後で請け負ってくれる業者が多いと思うが、安価で操作性の良いドローンが普及し始めており、今後更に用途が拡大しバッテリー性能が上がれば、一農家が1台所持する時代もそう遠くない。そうなればつらい農作業がいくらか楽になり、若者も田んぼに戻ってくるかもしれない...と言う妄想は少し都合がよすぎるかな？



## 今月のおすすめ

●果樹用春肥

「ニトロV40号」 3/30〜4/29

ホウ素入りで水稲穂肥や果樹の開花や受粉にも非常に高い効果を発揮する硝酸系化成で、冬の消耗養分を素早く補給するために最適の肥料です。特に雪の多い今年には出来るだけ早く根まで肥料を届けたい!と言う方も多いと思いますが、この肥料の特徴は「少しの水分でさつと溶解、パツと吸収され、スツと消化されていく」こと。つまり、早く効かせて秋の着色には影響がないのです。安定した開花受粉の為にぜひお使い下さい。



## ★気になる今月のお天気

3/30〜4/29

天気は数日の周期で変わるでしょう。また期間の初めは気温がかなり高くなる見込みです。

週別の気温は、1週目は高い確率80%、2週目は平年並の確率50%、3〜4週目は高い確率50%です。大きな気温変化に注意が必要です。

気温	10	30	60
降水量	30	40	30
日照時間	30	40	30

■(平年)以下 ■並 ■高い(%)

**掘り出し物情報!!**

税込¥1,250を**20%OFF!**

霜よけに常備!

100時間燃える!

ハウスキャンドル

★編集者のつふやま...

春の訪れとともに、常連さんがちらほらと顔を出してくるようになり、「あのお父さん最近こないなあ、あのおじいちゃんは去年来なかったけど元気にしているだろうか?」などと考えていると、数日後にはその人がやってきてくれるからとても不思議なのですが、勝手に「以心伝心」と嬉しくなって元気が湧いてくる今日この頃です★(M)